

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

<令和6年度事業の概要>

令和6年度は、公益目的事業に掲げる研究助成事業として198件の研究課題、総額3億5950万円の助成を行った。

また、令和5年度に助成した198件の研究課題について、その研究成果を研究年報にまとめ発行するとともに、コロナ禍により変則的な形で開催してきた助成研究発表会を5年ぶりに全面的に対面開催し、各課題の代表研究者から研究成果の報告を受けた。さらに、令和元年度から令和5年度まで助成した特定研究グループ「喫煙と免疫代謝－生活習慣病における意義の解明と制御－」（令和6年1月29日に総括検討会を実施）及び「早期肺癌の全ゲノム解析－喫煙を主とした原因別のゲノム変化の同定－」（令和6年3月14日に総括検討会を実施）について総括報告書を発行した。

なお、助成研究の主要な成果として、令和6年度内に国内外の学会誌等に発表された研究論文の総数は131報であった。

さらに、助成研究の効率的な推進等に資するため、研究助成に附帯する事業として、特定研究4グループの検討会を開催したほか、シンポジウム「物質依存と行動嗜癖を統合した疾病概念をめざして－共通基盤を基礎と臨床から考える－」及び「ニコチン受容体を介する生理機能制御における末梢－中枢連関と治療薬開発」を開催した。また、機関誌「喫煙科学」や令和5年度の「事業概要」を発行し、助成研究の紹介や事業内容等の周知を行った。このほか、研究審議会を3回開催し、令和5年度に助成した研究成果の評価・総括、令和7年度に新規助成する研究の選考審査等を行った。

これらの事業に要した費用を含め、令和6年度に支出した事業費の総額は4億5196万円であった。

財団の管理・運営に関しては、理事会や評議員会の開催等の諸活動を法令や定款に従い実施した。理事会は4回、評議員会は2回開催し、令和5年度事業報告や令和7年度事業計画等の議案が報告・承認された。また、預貯金や投資有価証券等の財団の財産については、財産管理運用規程に基づいて適正な運用を行った。

理事会や評議員会の開催に要した費用を含め、財団の管理・運営に必要な経費として令和6年度に支出した管理費の総額は3923万円であった。